

平成11、12年度基盤研究A
「獣医学教育の抜本的改善の方向と方法に関する研究」
研究代表者 唐木英明

私立大学担当第8班・第6回会議記録（抄）

日時：2000（平成12）年10月7日（月）16：00 - 18：00

場所：東京第一ホテル堺、大阪府堺市南向陽町2丁目2番25

出席者：麻布大学獣医学部：正岡俊夫教授，鈴木嘉彦教授，赤堀文昭教授，日本大学生物資源科学部：渡部敏教授，野上貞雄教授，酒井建夫教授，北里大学獣医畜産大学：小山弘之教授，高瀬勝悟教授，日本獣医畜産大学：中條真二郎教授，鎌田信一教授，酪農学園大学：種池哲朗教授，竹花一成教授（全員出席）

1. 議事録の承認

既に配布されていた第5回会議録が原案通り承認された。

2. 報告事項

1) 第2回全体会議（平成12年10月6日開催）報告

2) 第1回私立獣医科大学協会「相互評価委員会；平成12年7月16日）の報告

各ワーキンググループで中案を再評価する形で，短期，中期，長期的課題を作成する形での作業を進めている旨の報告がされた。しかし，早急に作業を進めるためにも，各ワーキンググループでの作業日程のアウトラインとそれをふまえた上での相互評価委員会の開催を切望された。また，臨床系教員の活動評価について種々論議され，本委員会では「どのようなことを臨床活動として認めるか」に留める事とした。

3. 審議事項

1) 本年度第8班の活動について

単位互換については，日大・酒井先生を中心に麻布大学での案を基に各大学へのアンケート調査を行うこととした。

2) 第8班活動の取りまとめについて

各大学独自の取り組み状況に関する文書報告書と私立獣医科大学協会「相互評価」報告文書を柱に12月中旬を目処に委員長が取りまとめる事とした。取りまとめに関する各大学の関係書類提出の期日に関しては委員長一任とした。

3) その他

・次回開催について
委員長一任とした。

以下スケジュール案です

- ・10月末 相互評価原案提出
- ・11月中旬 第2回相互評価委員会開催
- ・11月末 相互評価案完成
- ・11月末 各大学の取り組み状況に関する文書報告書提出

- ・ 12月上旬 担当8班報告書原案各大学に配布
- ・ 12月中旬から1月上旬 8班会議招集し報告書完成

私立大学担当第8班・第5回会議記録（抄）

1. 日時：2000（平成12年）年5月19日（月）10：30 - 14：00
2. 場所：東京，私学会館アルカディア・市ヶ谷
3. 出席者：麻布大学獣医学部・政岡俊夫教授，鈴木嘉彦教授，赤堀文昭教授，
日本大学生物資源学部・渡部敏教授，野上貞雄教授，酒井建夫教授，
北里大学獣医畜産学部・小山弘之教授，高瀬勝悟教授，
日本獣医畜産大学・鎌田信一教授，
酪農学園大学獣医学部・種池哲朗教授，竹花一成教授
欠席者：日本獣医畜産大学・中條眞二郎教授
4. 議事録の承認
第4回会議録が原案通り承認された
5. 報告事項
 - 1) 私立獣医系5大学志望者調査報告書の増刷について
既に280部（麻布大学獣医学部80部，日本大学生物資源学部60部，北里大学獣医畜産学部20部，日本獣医畜産大学60部，酪農学園大学60部）を増刷し，すでに各校に配布済みである．経費は2000年度配布の本科研費で，各校で負担する旨の報告がされた．
 - 2) 私立獣医系5大学志望者調査報告書の利用について
平成11年度基盤研究A「獣医学教育の抜本的改善の方向と方法に関する研究」の事務局尾崎博先生より本報告書を他の目的で使用したい旨、種池委員長に打診があり，了解した旨の報告がなされた．
6. 審議事項
 - 1) 「獣医学教育の横断的評価」：一部評価項目の再検討について
 - ・ 教育理念について
教育理念に基づき学部教育をどの様に行っているか，具体的な方向性（目標）と内容を明記する．
 - ・ 財政について
消費収支にて記入する．ただし資金収支のその他の収入のうち、獣医学教育充実のために、特定預金などからの「繰り入れ収入」などがある場合、また資金支出で獣医学教育充実のために施設関係（建物支出や構築物支出）の支出がある場合はその内訳も明記する．
 - ・ 研究組織について
基準協会の案を基に，目標を達成するための短期的，長期的目標を明記する．
 - ・ 教員の活動時間について
自己申告と各大学責任者の評価を併記する．
 - ・ 論文数について
統一基準（広く知られている国際的なdata base,あるいはcitaton 雑誌に掲載されて

いるもの)に準じ、再度自己申告を行う。なお、今回用いる国際的 data base とは Journal Citation Reports, Current Contents, Medline, BIOSIS, CAB International, EMBASE を指し、日本獣医師会 3 学会誌 (1986年1月以降のものから) も含める。

- ・ 教員数, 支援者数について
下記のように数は総数, 常勤, パートの区別を行い, 更に全体に関わるもの, 直接関わるものに区別する。また, その他は削除する。

総数	事務系 常勤	パート
** (直接の支援者)	** (直接の支援者)	** (直接の支援者)

総数	技術系 常勤	パート
** (直接の支援者)	** (直接の支援者)	** (直接の支援者)

- ・ 学生の進学者の内訳について
自校, 他校の区別を行う。
 - ・ 就職者について
母数は就職希望者とする。研修医を含む代診も就職とみなすが, 大学院進学者は就職希望者から除く。
 - ・ その他
施設・設備についての面積表示について
臨床系実習, 実験室面積は別に明記する。
- 2) 「獣医学教育の横断的評価」: 評価項目の再検討の提出期限について
6月16日総会までとし, 種池委員長に各校より提出する事とした。
 - 3) 私立5獣医科大学の相互評価委員会の設置について
人数および人選を中村經紀協議会会長に一任する旨, 種池委員長より提案することした。
 - 4) その他
今年度私立大学担当第8班の活動について: 海外視察, 単位互換, 連携などの意見が出されたが今後の課題とした。
次回開催について: 必要に応じ委員長召集とした。

私立大学担当第8班・第4回会議記録(抄)

日時: 2000年(平成12年)2月28日(月)9:00-16:00

場所: 札幌ガーデンパレス 5Fはまなす(札幌市中央区北1条西6丁目 011-261-5311)

出席者: 麻布大学獣医学部: 政岡俊夫教授, 鈴木嘉彦教授, 赤堀文昭教授

日本大学生物資源科学部: 渡部敏教授, 野上貞雄教授, 酒井建夫教授

北里大学獣医畜産学部：小山弘之教授，高瀬勝悟教授
日本獣医畜産大学獣医畜産学部：中條眞二郎教授，鎌田信一教授
酪農学園大学獣医学部：種池哲朗教授，竹花一成助教授（12名全員）

議事

1. 議事録の承認

第3回会議録が原案通り承認された。

2. 報告事項

1) 獣医学教育の横断的評価に対する各大学の意見

- ・日本大学は臨時に基礎，臨床，応用より委員を選出し，検討した結果，特に「教員組織の貧弱さ」が指摘された。
- ・酪農学園大学は横断的評価調査書作成委員会で検討した結果，特に「理念に基づいた教員配置がなされていない」点が指摘された。
- ・麻布大学は自己点検委員会で検討した結果，「今回の調査表では5獣医科大学を一律に評価することは難しく，調査表を工夫する必要がある」事が指摘された。
- ・北里大学は検討されていない旨の報告がなされた。
- ・日本獣医畜産大学は中條教授が個人的に検討した結果，全体に対する「中條案」の中で種々指摘された。

2) 私立獣医系5大学志望調査書について

- ・日本大学：渡部教授，野上教授のご尽力で完成した旨の報告がなされた。また，調査対象者が現役3年生であることと，各大学からの個別の質問に関しては進研アド社に直接問い合わせると対応してくれる旨の説明もなされた。
- ・酪農学園大学に進研アド社より報告書，資料編・集計表，資料編・自由記述，各50部郵送され，2月26日受領されていることが報告された。

3. 審議事項

1) 獣医学教育の横断的評価調査書の取り扱いについて

- ・4月3日（月）の私立獣医科大学協会協議会で「中條案」を基本に，各校からの修正部分を取り入れ種池委員長が報告する。
- ・私立獣医科大学協会協議会の中に「私立獣医科大学の評価委員会」の発足を提案する。
- ・現在の横断的評価について不明な点（記載統一が出来ていない）については，今後統一したものを作成する努力をする。
- ・横断的評価の記載事項の曖昧な点は以下のように集約される。
 - ・教育理念について：より具体的に記載する
 - ・財政について：項目別の歳出が不明である。消費収支なのか？ 資金収支なのか？
 - ・研究組織について：より具体的に記載する
 - ・教員の活動時間について：自己申告のみでいいのか？
 - ・論文数について：基準をどのようにするか明らかにする。
 - ・教員数，支援者数について：基準をどのようにするか明らかにする
 - ・学生の大学院進学者の内訳について：自大学，他大学を明らかにする
 - ・就職者について：母数および代診をどのようにするか

2) 私立獣医系5大学志望調査書の配布先について

- ・第8班構成委員 12部
- ・私立獣医科大学協会会長 麻布大学学長 中村経紀 1部

- ・北里大学獣医畜産学部 学部長 寺島福秋 1部
- ・日本獣医畜産大学獣医畜産学部 学長 池本卯典 1部
- ・日本大学生物資源科学部 学部長 佐々木恵彦 1部
- ・酪農学園大学 学長 安宅一夫 1部
- ・全国獣医学関係大学代表者協議会 会長 唐木英明 5部
- ・国公立11大学 農学部獣医学科長 11部
- ・(社)日本獣医師会 会長 五十嵐幸男 2部
- ・農林水産省畜産局衛生課長 松原謙一 1部
- ・文部省高等教育局専門教育課課長 岩本涉 1部
- ・文部省私学部私学行政課課長 村田直樹 1部
- ・厚生省 生活衛生局乳肉衛生課長 森田邦雄 1部
- ・基準協会獣医学教育研究委員会委員長 光岡知足 1部
- ・日本学術会議獣医学研連委員長 高橋貢 1部

(敬称略)

- ・予備 9部

3)私立獣医系5大学志望調査書の増刷について

- ・来年度予算で可能であれば各大学教員分(約250-300)の増刷を行う。その交渉を日大渡部教授に依頼した。

4)次回(平成12年度)開催について

- ・5月連休明けとし、日時、場所については委員長一任とした。

次回案内：2000年(平成12年)5月19日(金)13:00-16:00
アルカディア市ヶ谷で開催される。

私立大学担当第8班・第3回会議記録(抄)

日時：2000年(平成12)1月21日(金)13:00~16:00

場所：東京、私学会館アルカディア・市ヶ谷 3F「高尾」

参加者：麻布大学獣医学部：政岡俊夫教授、鈴木嘉彦教授、赤堀文昭教授、
日本獣医畜産大学獣医畜産学部：中条眞二郎教授、鎌田信一教授、
日本大学生物資源科学部：渡部敏教授、野上貞雄教授、
北里大学獣医畜産学部：小山弘之教授、
酪農学園大学獣医学部、種池哲朗教授、竹花一成助教授 以上10名

議題

議事に先だって、事前配布されていた、第2回私立大学担当8班会議記録(案)を確認した。

(1) 私立5大学・獣医科受験生アンケートの実施について

・日大(渡部教授)より別紙予定に従い進研アドにより実施され、発送数2,000名で約300名よりの回答を得ており、現在分析中で2月下旬に報告書が提出される旨の報告がされた。

なお、今回のアンケート実施により現時点で獣医学部受験者数の大幅な減少が明らかになった。

(2) 獣医学教育の充実と発展 (私立獣医科大学の連携)

- ・各大学の「横断的評価」調査書の交換が行われた。
各大学は「大学基準協会の基準」を基に5大学間での5段階評価を行い、その結果を委員長に次回会議までに提出する。その過程で各大学の問題点が明らかになり、その時点で連携については協議する。
なお「横断的評価」調査書の検討結果は4月3日の私立大学協議会で報告する。

(3) 会計処理について

- ・各大学の責任で年度内に処理し、会計担当(東大尾崎先生)に報告する。

(4) その他

- ・各大学のカリキュラム編成/改訂作業の現状について情報交換が行われた
- ・次回会議は「横断的評価」のとりまとめについてを主題とし2月末に行う。なお、日時、場所については委員長一任とした。

後日、2000年2月28日(月)9:00より16:00、札幌ガーデンパレス(札幌市中央区北1条西6丁目
011-261-5311)で開催案内された。

私立大学担当第8班・第2回会議 記録(抄)

日 時 : 1999(平成11)年10月13日(金)12:00-14:00

場 所 : 熊本市ホテルサンルート 5F 第2会議室

出席者 : 麻布大学獣医学部 : 政岡俊夫教授、鈴木嘉彦教授、赤堀文昭教授

日本大学生物資源科学部 : 渡部敏教授、野上貞雄教授、酒井健夫教授

北里大学獣医畜産学部 : 小山弘之教授、高瀬勝悟教授

日本獣医畜産大学獣医畜産学部 : 中條眞二郎教授、鎌田信一教授

酪農学園大学獣医学部 : 種池哲朗教授、竹花一成助教授 以上12名・全員

議 題 :

(1) 獣医学教育の横断的評価の調査について

この課題については、第1回8班会議(1999/9/10、酪農学園大学)で話題となり、私立5大学が個別に検討し、その結果を10月12日(火)開催の私立獣医科大学協会協議会で意見交換し、私立大学としての方針と態度を最終的に協議決定した。

(2) 獣医学教育の充実と発展

- ・基本的検討課題を設定する。教員組織、カリキュラム、学生数(入学定員、収容定員)、学費などが考えられる。横断的評価の資料が出揃い、現状把握してから課題抽出する。各課題の役割分担については委員長に一任することにした。
- ・横断的評価の記入/作成について
大切なことは、記入にあたっての姿勢である。何が大切か理解できるように記載する。

財務；財政基盤は、処理法は、収入が獣医学の教育研究にどの程度、投下されているか。

人事；昇任、採用基準。実態はどうか。

私学としての評価項目があれば付加することも可能である。独自の方向を探るべきである。

(3) 私立獣医科大学の連携

- ・各大学の充実に向けての取組状況について意見交換した。
- ・「獣医学教育の横断的評価」について、その意義、背景を理解するが私立大学としてどのように受け止めるかについて議論が集中した。
- ・私立大学としては、統一フォーマットに基づいて現状分析し、充実と発展、改善を目指す。まずは自助努力し、不足部分は施設の相互利用も視野にいれて私学としての連携を強化することで意見の一致をみた。

(4) その他

- ・8班研究費 / 100万円の使用方法について論議した。アンケート調査の実施、啓蒙広報パンフレット作成の提案があった。実績とパイプを持つ日大（渡部、野上先生）に実施の可能性について調査依頼した
- ・次回の第3回私立大学担当8班会議を2000(平成12)年1月21日(金)13:00-16:00、私学会館アルカディア・市ヶ谷(東京都千代田区九段北4-2-25 Tel. 03-3261-9921)で開催する。

私立大学担当第8班・第1回 会議 記録(抄)

- ・日 時：1999年9月10日(金)13:30-16:30
- ・場 所：酪農学園大学本館4階第3会議室
- ・出席者：麻布大学獣医学部：政岡俊夫教授，鈴木嘉彦教授
日本大学生物資源学部：渡部敏教授，野上貞雄教授
北里大学獣医畜産大学：高瀬勝悟教授
日本獣医畜産大学：鎌田信一教授
酪農学園大学：種池哲朗教授

以上7名

・議題：

(1) 各班会議の報告

第1回科研費打ち合わせ会議(1999/7/8)と第1回科研費総括担当2班委員会(1999/8/30)の報告があった(別紙配布)。

(2) 獣医学教育の充実と発展

(3) 私立獣医科大学の連携

- ・各大学の充実に向けての取組状況について意見交換した。
- ・「獣医学教育の横断的評価」について、その意義、背景を理解するが私立大学としてどのように受け止めるかについて議論が集中した。
- ・評価シートに各大学が数字をいれていけばそれで済むのか？
- ・国公立大学一斉に一律に評価していく意義はどこにあるのか？

- ・フォーマット(案)は尊重するにしても、私学の独自性を考慮した評価項目があつてしかるべきではないか？
- ・国立8大学の再編に役立つのか？マイナス要因として働くのではないか？
- ・私学の学生/教員・比からは定員減を求められることになりかねない。
- ・私立大学間で相互評価することもあつていいのではないか。
- ・私立大学としては、統一フォーマットに基づいて現状分析し、充実と発展、改善を目指す。まずは自助努力し、不足部分は施設の相互利用も視野にいれて私学としての連携を強化することで意見の一致をみた。

各私立大学が「獣医学教育の横断的評価」について検討し、その結果を10月12日(火)開催の私立獣医科大学協会協議会で意見交換し、私立大学としての方針と態度を最終的に協議決定することにした。

(4) その他

- ・8班研究費/100万円の用法について論議した。アンケート調査の実施、啓蒙広報パンフレット作成の提案があつた。実績とパイプを持つ日大(渡部、野上先生)に実施の可能性について調査依頼した。
- ・高橋貢氏(日本学術会議獣医学研究連絡委員会委員長)の私立獣医科大学協会協議会出席の可否について打診され、問題なしとした。
- ・池本卯典氏が日獣大新学長に就任した。
- ・次回8班会議：第2回/1999(平成11)年10月13日(水)13:00-15:00/
熊本市、第3回/2000(平成12)年1月中旬予定/場所未定